

事業局より

連合ライセンス講座 美術教育力養成講座 第3期2次

「海外美術教育 ワークショップ-明日の授業が変わる-」

連続講座を終了して

事業局長 水島尚喜

平成29年8月21日(月)、22日(火)の両日にわたって、連合主催の連続講座「造形・美術教育力養成講座【海外美術教育ワークショップ明日の授業が変わる-】」(会場:聖心女子大学)が、開催されました。InSEA世界大会(於:韓国大邱)の終了直後であり、近年の美術教育の国際化を踏まえた多彩なアクティブラーニングの内容に、受講者の方々は熱心に取り組んでいました。詳細につきましては、次号連合ニュースにてお知らせしたいと思います。



上: 仲瀬先生「フレーベルの基本的な考え方に基づいて」 上: 小林先生&北澤先生「アルチンボルトを身近な素材で」

下: 山口先生「スウェーデン・フィンランド・ロシアの著明美術館教育事情」についてのレクチャー



造形・美術教育力養成講座 第3期2次

「海外美術教育ワークショップ-明日の授業が変わる-」連続講座を終了して

事業局長 水島尚喜



大坪理事長による「講座修了書」の授与

8月21日（月）、22日（火）の両日にわたって開催された連合主催『造形・美術教育力養成講座【海外美術教育ワークショップ・明日の授業が変わる -】（第2次、全8回）』が無事終了しました。以下に受講された皆さんへの「参加者全員アンケート」からの回答結果をもとに報告申し上げます。

本年度は、聖心女子大学2号館4階ワークショップルーム、及び造形室を会場として連続講座が開催されました。会場の交通アクセスが良く、参加された方々から高評価をいただきました。

本年度は、韓国においてInSEA大邱大会が直前に開催され、受講者数が当初不安視されましたが、全国からの参加がありました。講座内容も大変充実しており、熱気ある展開がなされました。快く講師をご担当戴きました先生方、大変熱心に受講下さいました方々へ、改めまして御礼申し上げます。

開催時期については、各学校種、種々地域の方々の参加可能な頃合いを見定めて設定してきました。今次の開催時期についてのネガティブな意見はありませんでした。また、内容については大変好評で、講座で学んだ内容を、明日からの授業に生かしていきたいとの感想が多数ありました。また、第2期第2次よりインターネットによる参加申し込みのシステムを別途導入していますが、今後につきましては連合のホームページ上に移行する予定です。今後も、種々の状況を見据えながら、実施形態を検討したいと思います。

参加者は、今回の講座テーマを反映して小学校教員及び中学校教員の方が多く、美術館学芸員、ボランティア、画塾経営者、院生の方たちもいらっしゃいました。対象やテーマに応じた周知方法を検討することが今後も必要です。

講座内容への希望するテーマは、以下の通りです。

「海外事例、他教科連携、横断的思考力」（大学助教）

「評価(学習評価)の理論と実践について（生徒の活動の理解、鑑賞活動の評価、評価と評点、生きる力を育む評価など）」（高等学校教諭）

「講座の内容について参加者が実践を持ち寄り、情報を交換したり、講師の先生よりアドバイスを受ける時間を設定するというのはいかがでしょうか。」（高等学校教諭）

「アートセラピー、美術学習に関する認知科学的内容」（大学院生）

「幼稚園における造形活動」（小学校教諭）

「ドイツの美術教育(ドイツの入試に美術が含まれているのは本当か?)」（短大講師）

「阿部宏行先生、幼少、幼少中、中高など校種連携に関する内容」（図工専科教員）

「新学習指導要領による図工の目指すべきもの」（小学校教諭）

「実際の授業の中で困っていることを克服する工夫をされている先生、障害を持つ子供たちの教育について具体的にお話をしてくださる先生、登校拒否児の美術教育を研究されている先生」（画塾講師）

「アジアの美術教育、日本の役割とか方向とか取り組みについて」（図工専科教員）

以上